

日の学習指導にはね返る研修を進めることが本校における当面の課題と考えることができる。

これらの調査結果を研究推進の手がかりに、＜2見とおし＞に述べた内容方法の具体的な方策を求めれば、経験の少ない先生の積極的なとりくみもみられるようになるのではないかと考えた。

(2) 調査のまとめと改善策

- ① 研究の基本的な計画は、1年次の方針を継続するが、運営の内容・方法については次の視点により改善に努めた。

第2年次 校内研修の概要

- 研究主題**
児童の主体性を授業の中に生かし、基礎学力を身につけさせるための指導法
- 研究内容**
 - ア、学力調査、学習活動状況調査等による児童の実態把握をたしかなものにする。
 - イ、各学年における目標・内容（研究対象教科）を系統的にとらえ、指導計画、その展開においてたしかな位置づけをはかる。
 - ウ、主題追求のための論題を明らかにする。
 - 改善策の設定
 - 授業を通しての検証
 - 成果のたしかめ
- 研究の方法**
主題追求の具体的な方法として、検証授業を中心にすすめる。
- 研究組織**

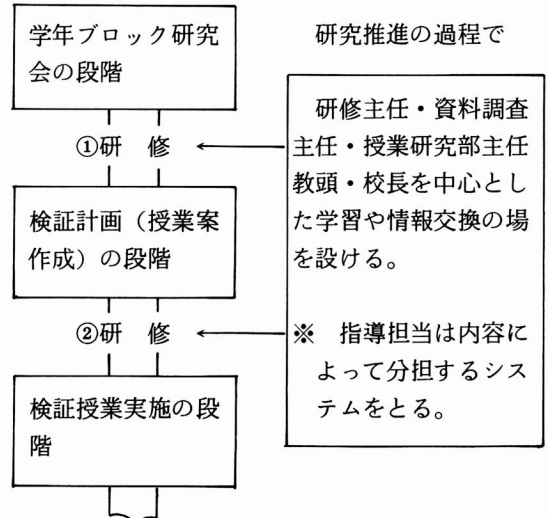
教科研究部会	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
全体研究会									
研究推進委員会	↑	資料部	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
		調査・記録部							
		授業研究部							

- ② 研究主題追求の過程において、指導活動に直接かかわる基本的な事項を学習し合う場を設定する。

このことは、研究の趣旨、見通しの項で述べてきたことであるが、研究推進の過程において、研究にかかわり、また、学習指導の基

礎となる事項等について研修する機会を設けることである。内容としては、調査2の考察にあるように、教職経験の少ない先生方の希望事項からとりあげてある。

＜基礎的事項にかかわる研修の場の例＞



- ③ 運営計画の推進過程では、次の様な具体的操作をとり入れる。（検証のための授業計画案作成の機会における研修方法）

